

# 甲13号証

資料 2-1



## 説明の内容

1. 小中一貫教育校の教育内容について
2. 尾道みなと小学校・尾道みなと中学校  
設計業務について
3. (1) 小学校における設計について  
(2) 中学校における設計について
4. 今後のスケジュールについて

## 第1回 資教教育校の教育内容について

学校教育目標  
夢と未来を拓く子どもたちの育成

校訓  
自律 創造 挑戦

目標  
子どもたちが  
郷土を愛し、心豊かにたくましく生きる子どもたち

## 第2回 資教教育校の教育内容について

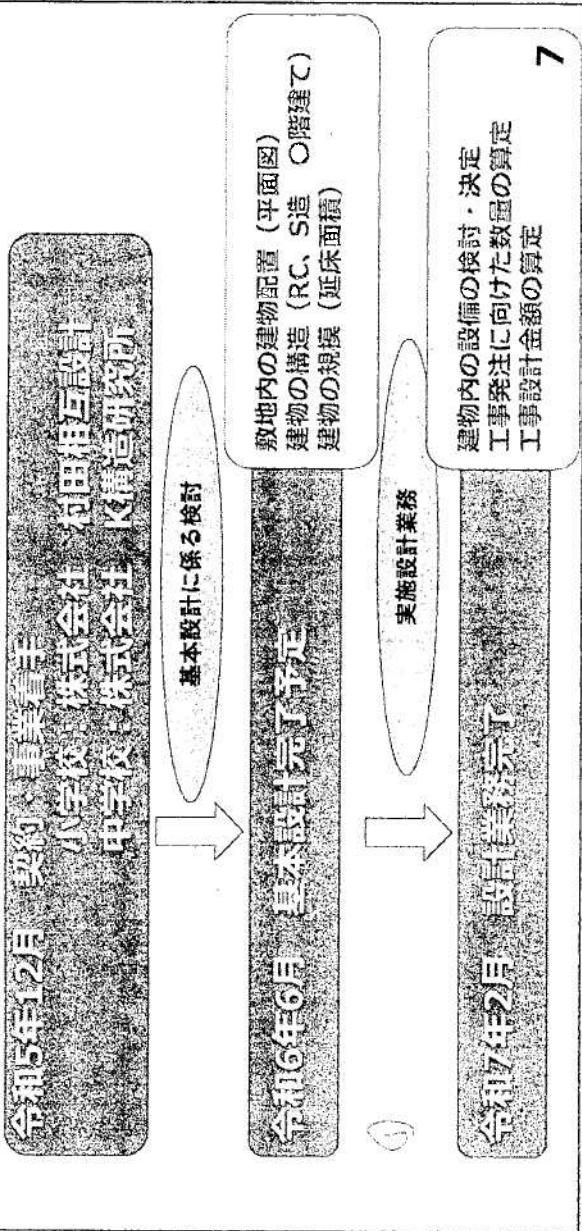
学校教育目標  
「生きる力」の育成

×  
グローバル  
力

（三）本シンクスハイスク校による学び舎の充実  
学級活動だけではなく、異学年や総割り活動を仕組みやすく  
なり、個や集団による学び舎をより充実させることが可能になる

（四）学科教室等による教科指導の充実  
・学級教員により創出された教室を、英語教室等の専科教室や  
専人教指導教室にし、学び舎をより深めることが可能になる

## 設計業務の進捗状況



## ○設計における検討事項

- ア) 校舎の規模・構造等について  
(教室数・教室の面積・ホール等について)  
イ) 敷地内の建物等の配置について  
(校舎の配置・グラウンド面積等について)

## ○設計における検討の視点

## 教育環境の充実に対応した学校施設の整備

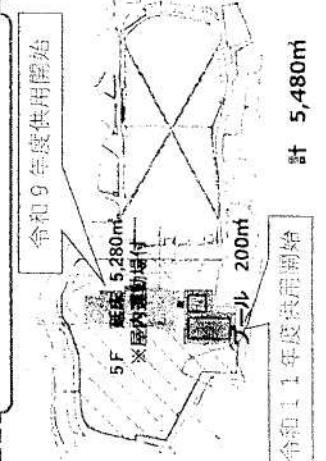
## 新しい学習環境への対応 児童生徒の安全・安心の確保

88

## 令和5年9月現在での提示案（従来案）

令和7年4月開校 ⇒ 令和9年4月新校舎使用開始

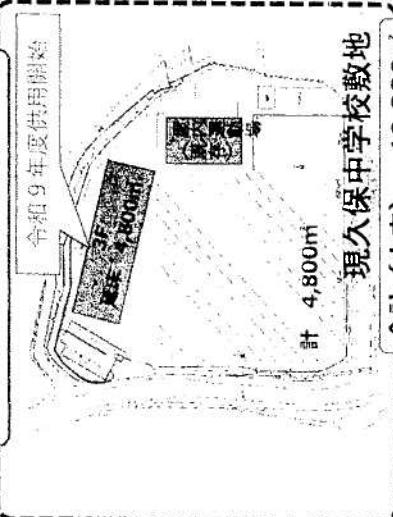
新しい小学校



現長江中学校敷地  
5,280m<sup>2</sup>

計 5,480m<sup>2</sup>

新しい中学校



現久保中学校敷地  
4,800m<sup>2</sup>

計 4,800m<sup>2</sup>

合計 (小中) 10,280m<sup>2</sup> 9

### 見直しを行った点

①

整備する学級数 小学校 10学級 (R5.1データ)

12学級 (R4.5データ)

今後の学級数減による普通教室の転用  
※整備する普通教室数は、最終的にはR6.5.1調査結果で決定

特別教室を多用途に利用することでの整備諸室の減  
(多目的教室との兼用)

プールを地上設置から屋上設置へ変更し、グラウンド面積の確保  
(小学校)

教育環境の充実を考慮したレイアウト案の検討  
(校舎建築位置、校舎内教室配置)

面積削減

教育環境充実

10

令和6年4月現在（基本設計案）

令和7年4月開校 ⇒令和9年4月新校舎使用開始

新しい小学校

現長江由學校數地  
計 5,042m

約6

合計（小中） 9,644m<sup>2</sup> 11

25

校  
卷

令和9年度供用開始

計 4,602m

卷之三

## (1) 小学校における設計

### ア) 校舎の規模・構造等について

## ア) 校舎の規模・構造等について（小）

### 教育環境の充実のため

#### 基本設計案

#### 別紙

R5.5.1調査時 (R9.4現在想定)  
尾道みなど小学校  
学級数 10学級 (特支2)  
児童数 240人  
R12には 7学級 (特支2~3)  
6学級になるのは、R15年度

普通教室を84m<sup>2</sup>（従来64m<sup>2</sup>）とし、ワーキングスペース・タブレット

学習に対応

今後の学級数減により普通教室を英語教室等に転用  
(教科担任制導入による教育環境の充実)

④ プールを屋上に整備し、グラウンド面積を確保

13

### 教育環境の充実のため

#### 基本設計案

#### R5.5.1調査時 (R9.4現在想定)

尾道みなど小学校  
学級数 10学級 (特支2)  
児童数 240人

プールを屋上に整備し、  
グラウンド面積を確保

プールを屋上に整備し、  
グラウンド面積を確保



14

(参照) 別紙 資料2-2

図1にスライド14の拡大図あり

## 小学校 比較表

### ア) 校舎の規模・構造等について

#### 基本設計案

延床面積  
5階建て 5,480m<sup>2</sup>

普通教室12

普通教室10  
(最終的には6を想定)

#### 特徴

プールを屋上に設置しグラウンド  
面積を大きく確保

校舎中心へ日当たりの関係ない室を配置  
4F建て

新しい学習環境の創出

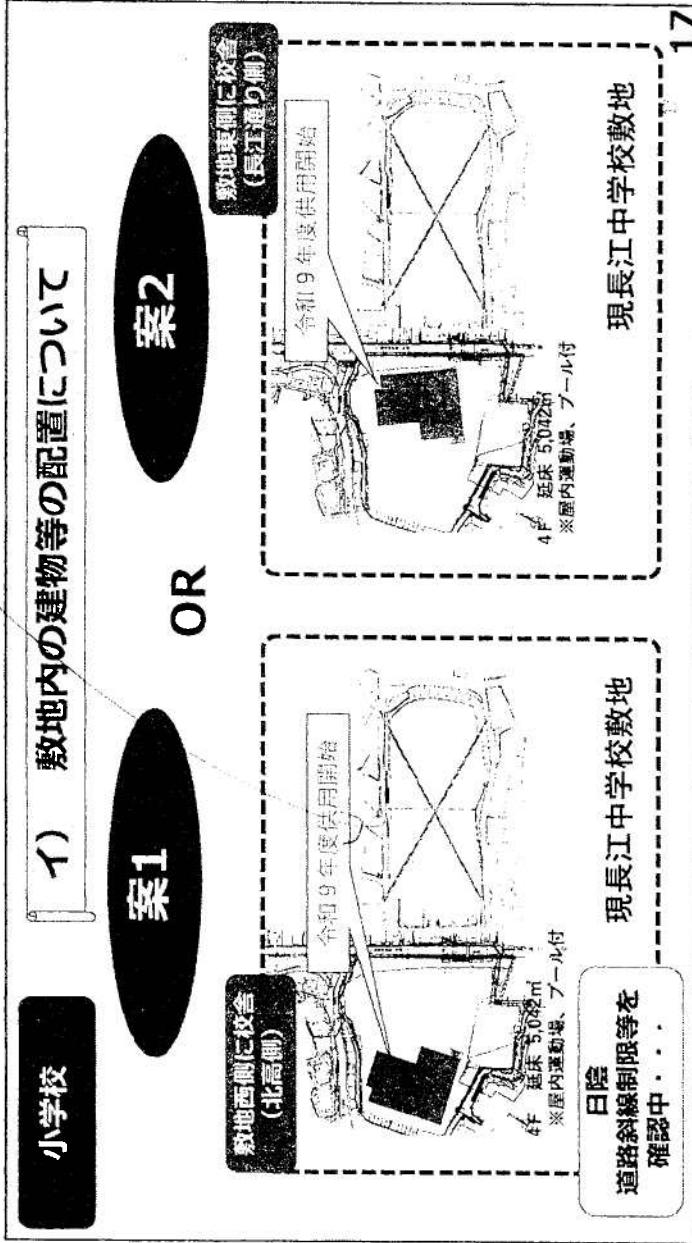
- ・フリースペースに伴う廊下部分の有効活用
- ・図書室を中心とした特別教室ゾーンの創出

15

## (1) 小学校における設計

### イ) 敷地内の建物等の配置について

16



(参照) 別紙 資料2-2  
図2にスライド17の拡大図あり

## (2) 中学校における設計

### ア) 校舎の規模・構造等について

## ア) 校舎の規模・構造等について(中)

### 教育環境の充実のため

#### 基本設計案

特徴

普通教室を84m<sup>2</sup> (従来64m<sup>2</sup>) とし、ワーキングスペース・タブレット学習に対応

R5.5.1調査時 (R9.4現在想定)  
尾道みなと中学校  
学級数 9学級 (特支4)  
生徒数 339人  
※R12には 6学級 (特支3)

図書室を中心とした特別教室の配置によるワーキングスペースの創出  
・共有のフリースペースでグループ学習  
・タブレットや書籍を使用した個別学習ができる

今後の学級数減により普通教室を英語教室等に転用  
(専科教室による教育環境の充実)

19

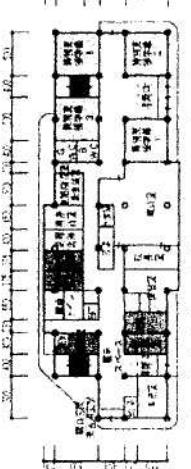
### 教育環境の充実のため

#### 基本設計案

R5.5.1調査時 (R9.4現在想定)  
尾道みなと中学校  
学級数 9学級 (特支4)  
生徒数 339人

図書室を中心とした特別教室ゾーンによるワーキングスペースの創出

普通教室を84m<sup>2</sup> (従来64m<sup>2</sup>)



今後の学級数減により普通教室を英語教室等に転用

20

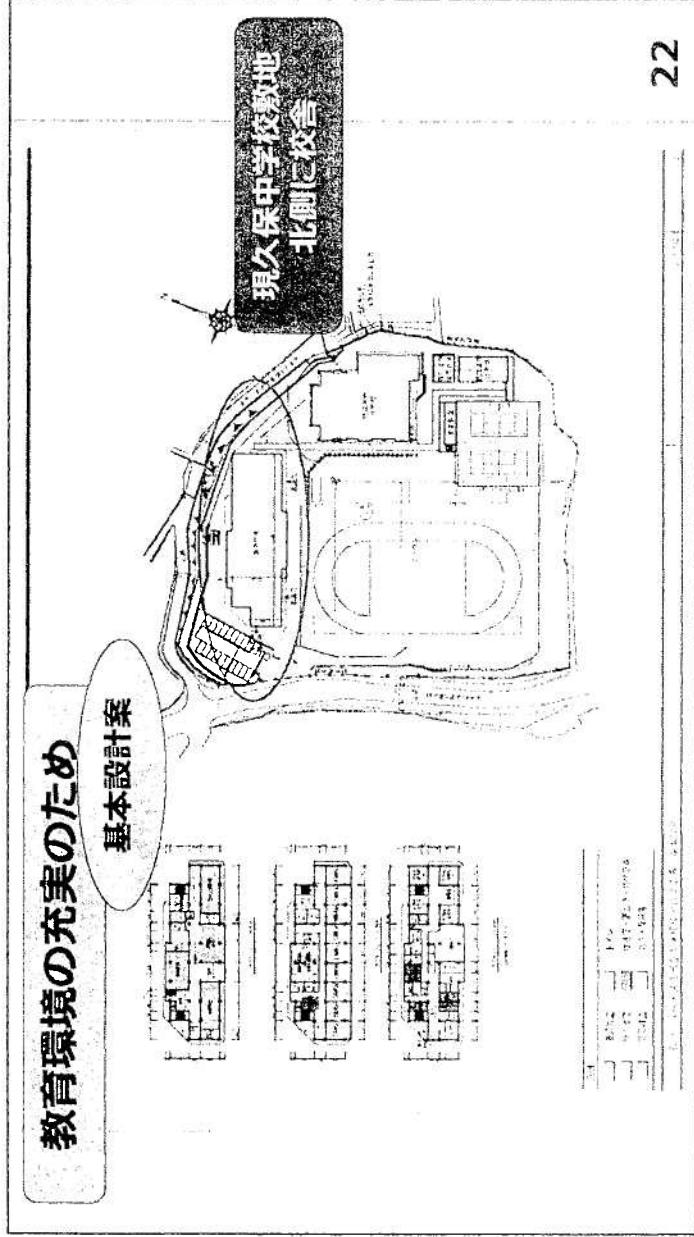
(参照) 別紙 資料2-2

図3にスライド20の拡大図あり

## (2) 中学校における設計

### イ) 敷地内の建物等の配置について

21



22

(参照) 別紙 資料2-2

図4にスライド22の拡大図あり

### 中学校 比較表

#### ア) 校舎の規模・構造等について

##### 基本設計案

延床面積

3階建て 4,602m<sup>2</sup>

普通教室9

(最終的には6を想定)

3階建て 4,800m<sup>2</sup>

普通教室9

##### 特徴

###### 3F全体を特別教室ゾーンにする

↓  
特色ある学習環境の創出

- ・フリースペースに伴う廊下部分の有効活用
- ・図書室を中心とした特別教室ゾーン

教室転用後の英語教室等（専科教室）による学習の充実

23

### 3. 今後のスケジュール

本日の内容を開校準備委員会での説明（保護者等の意見伺）

- ・校舎の規模、構造等について
- ・敷地内の建物等の配置について



次回 議員説明会

※保護者等の意見を受けての教育委員会の見解



令和6年6月 基本設計業務の完了

24

児童生徒にとつて毎日楽しく生き生きと教育活動ができる学校、保護者・地域から愛され、令和7年4月の新校舎使用に向け全力取り組みます

1	2	3
1. <u>金</u> <u>金</u> <u>金</u> <u>金</u> <u>金</u>	2. <u>金</u> <u>金</u> <u>金</u> <u>金</u> <u>金</u>	3. <u>金</u> <u>金</u> <u>金</u> <u>金</u> <u>金</u>

這就是我心的？